

中学校第1学年美術科学習指導案

日時 平成25年11月29日

指導者 教諭 高木 善輝

1 単元名（題材名）

「文様 飾りの小宇宙」（光村図書 中学校美術1）

2 単元（題材）について

（1）ねらいについて

現在、私たちの日常生活の中で、コンピュータ・グラフィックス（CG）を目にする機会が多くなってきた。それにつれてコンピュータに対する生徒の興味関心も高くなってきている。コンピュータを使ってのデザイン指導をすることによって、デザインや配色についての興味関心を引き出すことにもつながるのではないかと考える。また、「ふるさと高森の誇り」をテーマに制作を行うことで、制作への意欲や作品、地域への愛着にもつなげたい。

（2）生徒の実態について

本学級の生徒は、男子11名、女子11名の計22名で構成されている。全体的に 明るく、男女間の仲もよい。美術に対する興味関心は高く、積極的に取り組む生徒が多い。アンケートの結果（19人回答）は以下の通りである。

絵を描いたり作ったりすることは好きですか

好き（どちらかと言えば好き） 16人（84，2%）

好きでない（どちらかと言えば好きでない） 3人（16%）

これまでにパソコンを使ったことは

ある 19人（100%）

パソコンを使って絵を描いたことは

ある 10人（52，6%）

ない 9人（47，4%）

その他にパソコンを使ってどんなことをしたことがありますか

名刺作り 作文 プレゼン作り 賞状作り 年賀はがき作り 作曲

ゲーム インターネット（調べもの、動画を見る、画像を見る）

パソコンでどんなことをやってみたい（できるようになりたい）ですか

素早いタイピング 模様などを描いてみたい パワーポイント 塗り絵

絵を描けるようになりたい 設計して作る アニメーション作り 写真

ゲームを作る

（3）指導にあたって

○TPCの操作のしかたについては

○様々な表現方法の作品を掲示したり、デジタルテレビに拡大表示したりして鑑賞できるようにするなど視覚に働きかけることにより、その多様性に

気付かせ、生徒の学習内容への興味・関心を高める。

- 本時の学習課題を黒板に示し、それを自己評価カードに記入させることで、本時の学習内容の見通しと意欲を持たせるようにする。また、生徒独自で前時の反省などをもとに個人目標を設定することで、意欲につなげる。

I C T活用のポイント

①教師の活用

- ・導入の課題提示において、デジタルテレビで実際に作業を行いながら提示し、作業手順を分かりやすく説明し、本時の課題に対して理解を深めさせる。

②生徒の活用

- ・T P Cを利用して作品制作を行い、班で画面を見ながら意見交換をし、配色の変更などを行うことで思考を深めさせる。

3 単元の見 標

- 身近なものから文様を見つけ、その意味、形や色の多様性に気付くことができる。
- 形や色の組み合わせを工夫して構想を練ることができる。
- 主題から受けたイメージをもとに、形や色で表現することができる。
- 自他の作品のよさや美しさを感じ取り味わい、作品を大切にすることができる。

4 単元の評価規 準 (国立教育政策研究所作成の「評価規 準の設定例」)

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身につけるために、主体的に学習に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に豊かに発想し、形や色彩の構成などを工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。	感性や造形感覚などを働かせて、形や色彩などの表し方を身につけ、意図に応じて材料や用具を生かしたり、制作の順序などを考えたりし、創意工夫して表している。	感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、生活の中の美術の働きなどを感じ取り見方を広げたり、美術文化の特性やよさに気付いたりしている。

5 指導計画及び評価基準 (1 1 時間取扱い)

時	学習活動	指導上の留意事項	関	発	技	鑑	評価基準・評価方法
1 1 h	・様々なモチーフや形の文様を見て、その意味などを考える。 ・本題材の課題	・様々な資料を提示し、モチーフ自体やその形・意味のおもしろさに気づかせる。 ・制作の流れを確認させる。	○				様々な文様の形や意味のおもしろさに気づき、作品制作の手順を理解することで、制作に対する意欲を持っている。

	や制作の流れを知る。					【観察・ワークシート】
2 3 h	・「ふるさと高森で誇れるもの」というテーマから自分の作品のテーマを設定し、文様の形を考える。	・モチーフ自体のおもしろさ、形の省略や強調など文様を工夫する点に気づかせる。 ・おもしろさや美しさのある文様になっているか確認させる。		○		自分のテーマを設定し、テーマに沿って単純化や強調を用いてアイデアを考えている。 【観察・スケッチブック】
3 3 h (本時 3/ 3)	・TPCを使って形を作る。 ・配色を考えて彩色する。	・TPCの操作でつまづきがないようサポートする。 ・形、色それぞれ完成した時点で、班で意見交換を行わせる。 ・班で活発な意見交換が行えるように、鑑賞のポイントを明示し意見交換をさせる。			○	TPCを使って、学習したことを生かしながら、テーマのイメージを表現するための形づくりや配色をしている。 【作品・ワークシート】
3 2 h	・用途を考え、文様の向きや形、色の変化などを工夫しながら配置を行う。	・様々な用途の具体例を提示して、イメージを強く持たせる。			○	使う目的や意図、場所などについて考え、文様の配置を考えている。 【作品】
2 2 h	・相互鑑賞会を行うとともに、自分の制作を振り返る。	・これまでの制作の流れをお互いがふり返られるよう、スケッチブックやワークシート、作品を全て提示して鑑賞できるようにする。				○ 自分や友達の作品、参考作品のよさをいくつか発見しようとしている。 【ワークシート】

6 本時の展開

(1) 目標

友達からの意見を参考に配色を工夫し、テーマがよく分かる文様を作ることができる。

(2) 展開

過	学習活動、主な発問 (T)	指導上の留意点・評価	備考
---	---------------	------------	----

程	予想される生徒の反応 (C)		ICT活用
導入 10分	1 本時の学習目標を知る。 (1) 前時を振り返り、本時の学習に向けて意欲を高める。 配色を見直し、テーマがよく分かる文様を作ろう。 (2) 活動の手順を理解し、課題解決に向けて意欲を持つ。	○自己評価カードへの記入と各自の目標の発表を班ごとに行わせる。 徹底指導 (ポイント) ○活動の手順を実演しながら説明し、課題解決への意欲を持たせる。	自己評価カード TPC デジタルテレビ
展開 35分	2 課題に取り組む。 (1) 班の中で1人ずつ作品を見せながら発表し、意見交換をする。 【言語活動】(設定の意図) 自分の意見と他者の意見を比較、検討することができ、思考を深めることができる。 (2) アドバイスをもとに再度配色を考えて作品を完成させる。	能動型学習 (ポイント) ○配色についての自分の考えをワークシートにまとめさせ、それをもとに発表をさせる。 ○友だちの作品の工夫点に気付いたり、友だちからのアドバイスを聞いたりしたことを自分の制作に生かすように促す。 ○変更した際は、個人フォルダに上書きせずに保存し、変化の過程を残しておくようにする。 ○主題のそれぞれの部分から感じる色に近いイメージの色で彩色させる。 ◆創造的な技能(作品) 友達の意見を参考に、テーマがよく分かる文様を作ることができる。 〈B基準に達していない生徒への手立て〉 ○再度個別指導を行い、作品を1つ完成させる。 ○作業の速い生徒には、完成作品を保存し、別課題で2つめの構成にチャレンジさせる。 ○作品を保存したか確かめさせる。	TPC ワークシート
まとめ 5分	3 本時の自己評価をする。 (1) 自己評価カードを書く。 (2) 次時の学習について説明を聞く。	○感想を書かせることで、本時の学習で感じたことや考えたことをまとめさせ、深めさせる。 ○本時の学習を整理し、今後の制作へとつなげる。 ○作品を個人フォルダに保存してシャットダウンさせる。	自己評価カード

